

不具合発生状況

- 2004年以降、硝酸アンモニウムを使用したタカタ製エアバッグのガス発生装置（インフレーター）が異常破裂し、金属片が飛散する不具合が発生。
 日本国内での走行中の事故： 8件 うち死者数：0名（負傷者数：2名）
 全世界での走行中の事故： 約200件 うち死者数：少なくとも18名 （米国13名<2009年2名、2013年1名、2014年2名、2015年4名、2016年3名、2017年1名> マレーシア5名<2014年1名、2016年4名>）
- 2008年以降、米国では累計4, 200万台以上、全世界では累計8, 100万台以上がリコール対象となった。
- 日本国内では、2009年以降自動車メーカー等24社から延べ134件のリコールが実施されており、累計1, 883万台が対象。（2017年9月時点の改修率81. 5%、約347万台が未改修）

日本国内におけるリコール

①原因が特定されたリコール

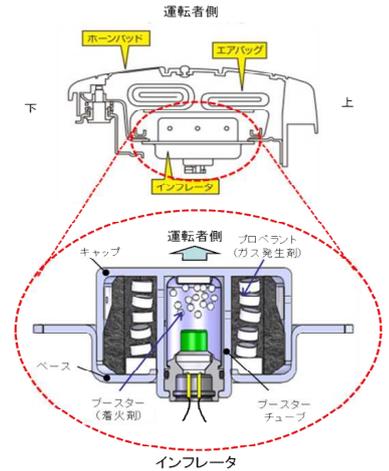
タカタにおけるエアバッグ・インフレータの製造管理が不適切であったために発生した不具合のリコール。

②予防的リコール

原因が特定されていない段階でも、僅かでも事故の可能性のあるものについてのリコール。
 主に、2015年5月以降にリコール届出。

エアバッグ・インフレータの作動原理

コンピュータがエアバッグをふくらませる必要があると判定すると、インフレータ（ガス発生装置）に着火され、燃焼による化学反応でガスが発生し、エアバッグがふくらむ。



車検で有効期間を更新しない措置(その1)

- タカタ製エアバッグのリコール改修を促進するため、異常破裂する危険性が高い未改修車両については、車検で有効期間を更新しない措置を講じることとしております。

(1) 対象範囲

施行日（平成30年5月1日を予定）までに車検時に警告文を交付するなど既にユーザーに対して改修の必要性が周知されている、平成28年4月以前にリコール届出されている自動車であって、異常破裂する危険性が高い特定のインフレータを使用したエアバッグを搭載した未改修車（約170万台）。

※ 対象車両の詳細は、各自動車メーカーの窓口（次ページ参照）へお問い合わせください。

(2) 措置の方法

- 自動車メーカーがホームページに構築する検索システムを活用し、**車検を受けようとする車両が措置対象かつ未改修であるかどうかを確認**してください。（日整連ホームページや、周知ポスターのQRコードからも各社のホームページに移動できるようにする予定です。）
- 該当する場合には、**ディーラー等で改修を行った上で車検を受検**してください。
- 対象車両であって未改修のまま車検に持ち込まれた場合、**車検で有効期間が更新されません**。

(3) 今後のスケジュール（予定）

平成30年 4月まで 検索システムの構築
 平成30年 5月 1日 施行



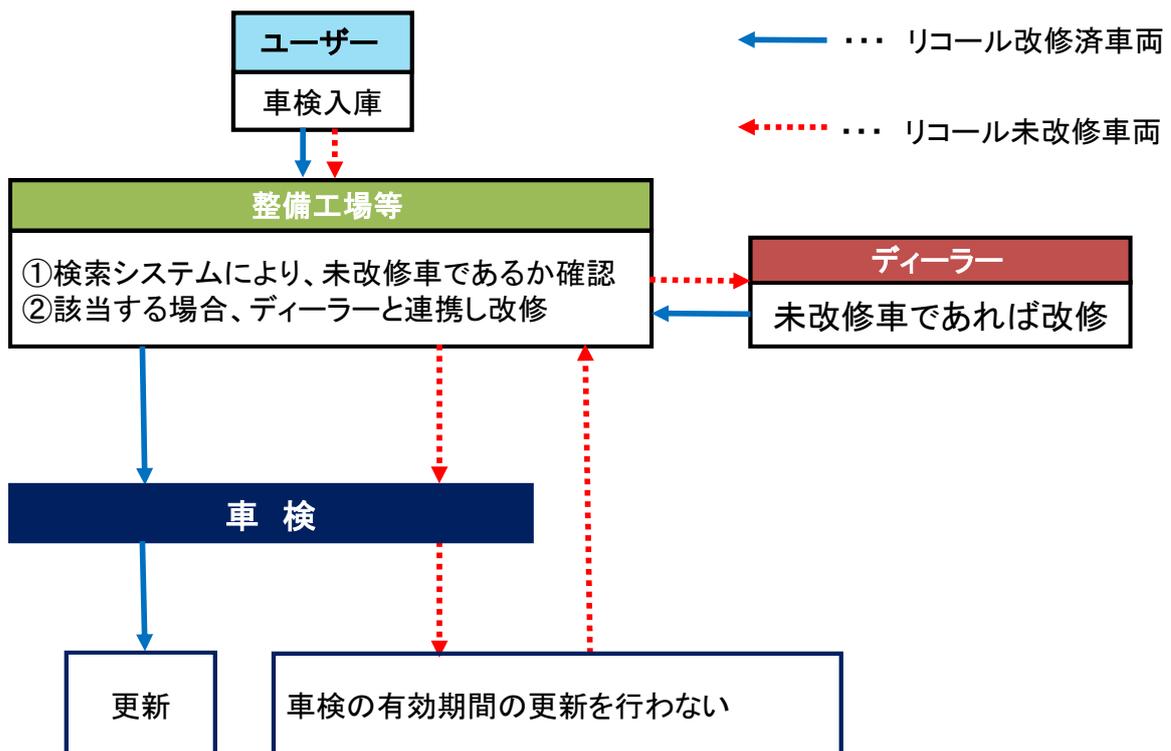
検索システム

自動車メーカー問い合わせ先

自動車メーカー名(五十音順)	お問い合わせ先 ※1	ウェブサイトURL ※2
アウディジャパン株式会社	0120-598-119	http://www.audi.co.jp/web/ja/service_accessory.html#page=/jp/web/ja/service_accessory/info_top/recall.html
いすゞ自動車株式会社	0120-119-113	http://www.isuzu.co.jp/recall/
FCAジャパン株式会社	0120-712-812	http://fcagroupprecallinfo.kir.jp/Rinfo/search/index.php
株式会社SUBARU	0120-412-215	http://recall.subaru.co.jp/lqsb/
ダイハツ工業株式会社	0800-500-0182	https://www.daihatsu.co.jp/info/recall/search/recall_search.php
トヨタ自動車株式会社【トヨタ】	0800-700-7700	http://www.toyota.co.jp/recall-search/dc/search
----- 【LEXUS】 -----	0800-500-5577	http://lexus.jp/recall/
ニコル・レーシング・ジャパン合同会社	0120-699-250	http://alpina.co.jp/services/recall/recall-information/
日産自動車株式会社	0120-941-232	http://www.nissan.co.jp/RECALL/search.html
ビー・エム・ダブリュー株式会社	0120-269-437	http://bmw-japan.jp/after-service/recall_search.html
日野自動車株式会社	0120-106-558	http://www.hino.co.jp/j/service/recall/index.php
フォルクスワーゲングループジャパン株式会社	0120-509-300	http://web.volkswagen.co.jp/afterservice/etc/recall.html
プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社	0120-55-4106	http://www.citroen.jp/services/recall/
本田技研工業株式会社	0120-112-010	http://recallsearch4.honda.co.jp/sqs/r001/R00101.do?fn=link.disp
マツダ株式会社	0120-386-919	http://www2.mazda.co.jp/service/recall/
三菱自動車工業株式会社	0120-324-860	http://recall.mitsubishi-motors.co.jp/Recall/jspforward.do?page=/searchrecallstatus.jsp&prefix=
メルセデス・ベンツ日本株式会社	0120-086-880	http://www.mercedes-benz.jp/my-service/recall/search/index.html
UDトラック株式会社	0120-67-2301	https://www.udtrucks.com/ja-jp/service-and-parts/recall-info/recalls/recalls/2016/20160630

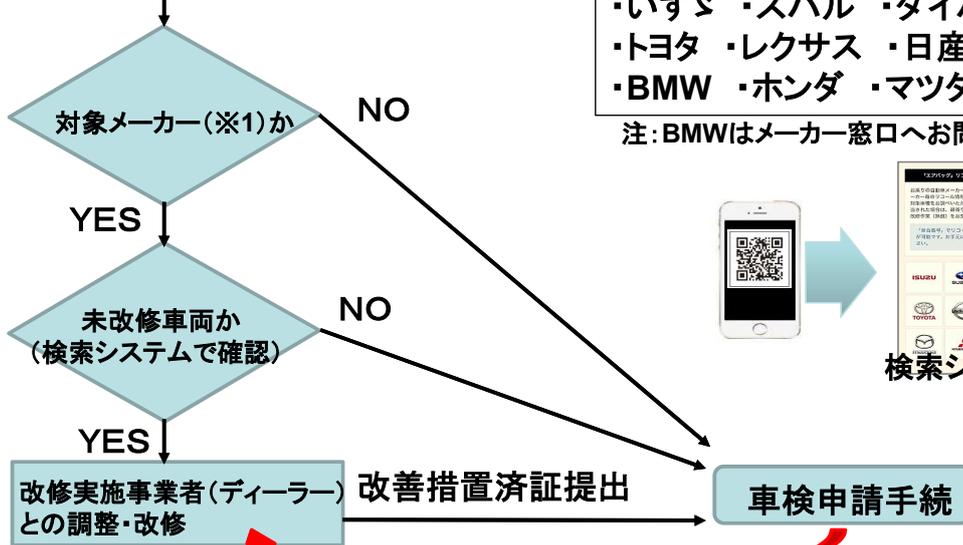
網掛けは、今回、車検で有効期間を更新しない措置の対象となる自動車メーカーになります。
 ※1 お持ちの車が今回の措置の対象になるかどうかの確認は、各自動車メーカー窓口までご相談ください。
 ※2 各自動車メーカーのウェブサイトでは、お持ちの車のリコール届出状況等について確認できます。「車台番号」が必要になりますので、お手元に車検証をご用意ください。なお、今回の措置の対象かどうかについても、今後、ウェブサイトを更新して確認できるようにする予定です。

車検で有効期間を更新しない措置の流れ



- ・ユーザーから入庫の連絡を受けたときは必ず「メーカー名」と「車台番号」を確認し、未改修車両かどうか確認してください。
- ・未改修車両の入庫が決定したときは、すみやかにディーラー等に連絡のうえ、改修のスケジュールや段取りを調整してください。

「メーカー名」「車台番号」の確認
(予約時、入庫時、顧客名簿、定期点検時など)



【※1対象メーカー】

- ・いすゞ ・スバル ・ダイハツ
- ・トヨタ ・レクサス ・日産
- ・BMW ・ホンダ ・マツダ ・三菱

注: BMWはメーカー窓口へお問い合わせください。



検索システム

注:ディーラーが改修してから国土交通省の保有するシステムに反映されるまで10日程度掛かります。改修日によってはOSS申請ができないおそれがあります。

未改修車両であるかを検索システム等で事前に確認しないと、有効期間の更新手続きが行われないおそれがあります。

対象車両の検索ページ(日整連ホームページより)

① 日整連ホームページのトップページで、『マイカーをお持ちの方向け』のプルダウンを開き、『リコール情報検索』アプリの紹介をクリック。

② 開いたページの最下段『車両リコール状況確認 (WEB版)』をクリック。

③ 検索ページへ

① 日整連ホームページのトップページで、『マイカーをお持ちの方向け』のプルダウンを開き、『リコール情報検索』アプリの紹介をクリック。

1. アプリのダウンロード

App Store 又は Google playでアプリケーションをダウンロード
(以下のQRコードリーダで読み取り、アプリストアにログインしてダウンロード)



2. アプリの使用法

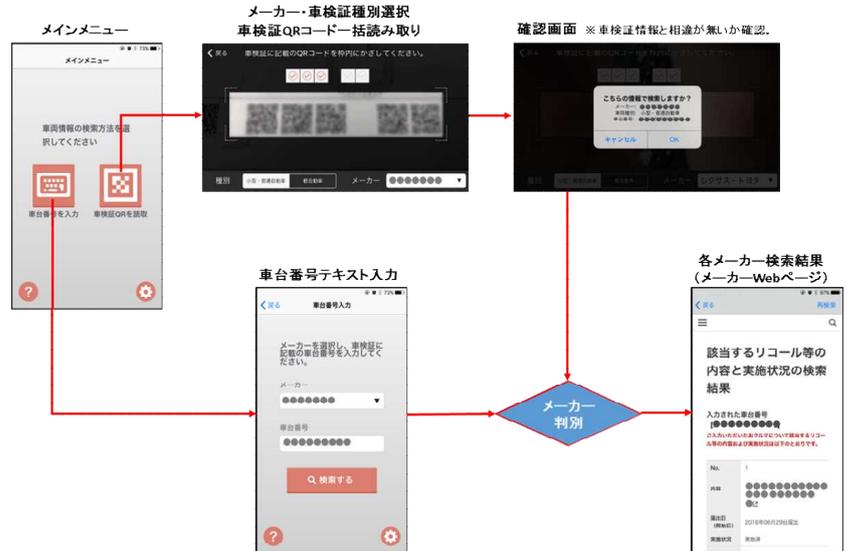
方法①
「メーカー名」と「車台番号」を入力して検索

又は

方法②
「メーカー名」を入力した上で車検証のQRコードを読み取り



検索結果へ



タカタ製エアバッグリコールの改修促進のためのご協力をお願い

- タカタ製エアバッグは、ガス発生装置(インフレーター)が異常破裂して金属片が飛散する不具合が発生しており、自動車メーカーは平成21年以降リコールを実施しています。
- 国土交通省でも、これまでに、未改修車に対し車検時に警告文の交付を行う等の改修促進の取組を進めておりますが、本年9月の国内の改修率は未だ81.5%であり、なお約347万台の未改修車がある一方、異常破裂による死者は全世界で少なくとも18人を数え、一刻も早い改修が必要な状況です。
- このため、平成30年5月より、異常破裂する危険性が高い特定のインフレーターを使用したエアバッグを搭載した未改修車について、車検で有効期間を更新しない措置を講ずることとしておりますが、整備工場の皆様におかれましても、本措置についてご理解を賜りますとともに、以下のご協力をお願いいたします。

- ✓ (車検で有効期間を更新しない措置の対象車か否かにかかわらず)タカタ製エアバッグのリコール対象車が入庫した場合には、ディーラー等と連携し、その確実な改修にご協力をお願いいたします。
- ✓ 有効期間を更新しない措置の開始(平成30年5月)前であっても、検索システムを活用し、対象車の特定・改修にご協力をお願いいたします。